技術ノート KGTN 2009092001

現　象

クライアントドライブ機能を使い，サーバ側からクライアント側へファイルをコピーするとセッションが切れることがある．また，セッションが切れない場合でも，クライアント側でファイルがロックされ削除が出来ない等の現象が発生することもある．

説　明

クライアントドライブ機能を使い，サーバ側からクライアント側へファイルをコピーする場合，ファイルサイズが 19MB を越えると以下の現象が発生することがあります．

- セッションが切断される（SessionVerification = 0 の場合は発生しません）．
- クライアント側にファイルサイズが 0 バイトのファイルが作成される．
- クライアント側にコピーされたファイルがロックされた状態になる．
- クライアント側にコピーされたファイルの正しいファイルサイズが得られない．

この問題は，回線速度やファイルの内容（テキスト・バイナリ）に依存せず，ファイルサイズのみに依存して発生します．ファイルがロックされた場合は，ActiveX クライアントでは IE を閉じることで，Windows クライアントは ggw.exe を終了させることでロックが解除されます．

クライアントドライブ機能でファイルをコピーする場合，FTP のような専用のファイル転送プロトコルでコピーが行われる訳ではなく，Windows 内部の低レベルのファイルコピー処理をフックして，サーバとクライアント間でファイルのコピー処理が行われます．このような仕組みにより，Windows の遅延書き込み機能等の極めて低レベルな処理も GG のセッションの中で行われ，サーバとクライアント間でエラー等のイベントが正常に伝わらず，それぞれが相手方からのイベントを待ち続けて，タイムアウトによるセッション断や継続的なファイルのロックが発生したものと推測されます．

現時点で確認された範囲では，ファイルサイズが 19MB 以下であればこの現象が発生しないことが判明しております．コピーするファイルのサイズを 19MB 以下にするよう運用対処をお願いいたします．将来的な対応に関しては，現在 GraphOn 社によって調査・検討中です。

Last reviewed: Oct 20, 2009
Ref: CASE#25671, CASE#25691, CASE#N3870, CASE#N3871, KGTN2009091501
Copyright © 2009 kitASP Corporation